

地域創造学類カリキュラムマップ(共生社会プログラム専門科目)(令和4年度以降)

ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)	地域創造学類では、現実の社会から提起される現代的諸課題に目を向け、それらを解決できる能力の育成を行う。そして、誰もが生き生きと安心して暮らせる社会、グローバルな共生社会、しなやかで折れない地域、将来にわたって持続発展する地域を実現するため、地域創造学の専門的知識と技術を修得し、地域の資源と特徴を生かし、質の高い個性ある地域づくりに意欲と責任をもって参加できる人材を、金沢大学<グローバル>スタンダード(KUGS)に立脚して育成する。また、海外の地域創造情報を自ら英語で収集し発信できる人材を育成する。金沢大学<グローバル>スタンダード(KUGS)及び本学類が掲げる人材養成目標を踏まえ、次の学修成果を達成した者に学士(地域創造学)の学位を授与する。		
共生社会プログラムの学習成果			
① 知識・理解	人間の生活基盤となる地域とその諸問題を理解するための地域創造学の専門的知識を修得している。		
	理念目標・社会的責任	対象となる地域課題の理念・目標や社会的責任について理解している。	
	現状理解・把握	対象となる地域課題の現状理解や把握について理解している。	
② 技能・表現	実践論・対処方法	対象となる地域課題の実践論や対処方法について理解している。	
	調査・分析方法	地域の諸課題の解決に必要な調査や分析の方法を修得している。	
	伝達技能	他者の声に耳を傾け、自らの考えを的確に伝達するコミュニケーション能力と他者を繋げ合意形成に導くコーディネート能力を身につけている。	
③ 思考・判断	地域や社会の諸問題を生活から制度・政策まで多角的に分析し考察できる。		
④ 関心・意欲	地域の諸問題を自ら探求し、よりよい地域の創造に貢献する意欲を持っている。		
⑤ 態度	地域で暮らすすべての人に共感と尊敬を持って接することができる。		

地域創造学類のカリキュラム・ポリシー(教育課程編成方針)	<p>地域創造学類は、学位授与方針に掲げる学修成果を達成するため、以下のとおり階層的な教育課程を編成し実施する。特に、地域課題科目群と地域創造科目群の選択的組み合わせによるプログラム制を導入し、学生の学修目標に沿った履修を実現する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 地域を知る基礎的な方法やリテラシーを学ぶ学類基礎科目群 2 地域とその諸問題を理解し、専門的知識を修得するための地域課題科目群 3 学生自身の将来像を意識させ、地域づくりのリーダーとしての素養を修得する地域創造科目群 4 地域を多面的に理解する調査や分析の方法を修得する演習及び実習科目群 5 多様な地域課題に対処する能力を高め、総合性を担保するための高年次の地域創造学特別演習 6 修得した知識と方法を統合的に発揮して自ら発見した地域課題に向かい合う卒業研究 <p>加えて、地域課題解決に実践的に取り組むための現地実習やインターンシップを配置し、フィールドワークによるプロジェクト学習や問題解決学習の手法を導入した実践的学修機会を用意する。また、学生の能動的学習を積極的に促すアクティブラーニングの手法を取り入れるとともに、外国語による地域創造に関する情報の収集と発信機会を提供する。</p>
------------------------------	---

【◎】は、授業の中で重点的に取り扱われ、特に高い学習成果が期待される。
【○】は、授業の中で取り扱われ、高い学習成果が期待される。

番号	授業科目名	学生の学習目標	授業理解のキーワード	単位数	学年	学習成果							
						理念目標・社会的責任	知識・理解 現状理解・把握	実践論・対処方法	調査・分析方法	技能・表現 伝達技能	思考・判断	関心・意欲	態度
35C01	高齢者福祉論	高齢化社会の内容と高齢者の特質、高齢者保健福祉の制度体系等について、授業およびレポート作成を通して理解を深め、これらに対する自分自身の意見をまとめる。	高齢者、高齢化社会、高齢者保健福祉	2	2年	◎	○		○		○		
35C02	子ども福祉論	子どもの貧困の実態を多面的にとらえ、支援ニーズと支援の在り方について意見を述べることができる。	子どもの貧困、子どもの権利、子どもの権利条約、社会的養護、アフターケア、権利擁護	1	2年	◎	◎		○	○	◎	○	
35C03	障害学	障害のある人々をとりまく現状と課題を、障害の社会モデルの視点から理解し検討することができる。	社会モデル、障害者権利条約、障害者政策、障害者福祉	1	2年	◎	◎				◎	○	○
35C04	医療社会学Ⅰ	医療の場が様々な立場の人の相互作用やコミュニケーションで構成されていることを理解し、健康と病気、医療をめぐる規範や価値観を分析できる。	医療、コミュニケーション、医療者—患者関係、自己決定	1	2年		◎			◎	◎	○	
35C05	医療社会学Ⅱ	現代医療の分析概念としての医療化と脱医療化について理解し、社会変動や技術の進歩、価値観の変化と関連づけて検討できる。	医療化、脱医療化、医療的ケア、支援	1	2年		◎			◎	◎	○	
35C06	アドボカシー論Ⅰ	権利擁護が必要とされる福祉の現代的状況と、社会的排除や権利侵害に対するアドボカシーの意義を理解できる。	人権、権利擁護、アドボカシー、当事者支援	1	2年	◎	◎	○			◎		○
35C07	アドボカシー論Ⅱ	権利擁護とアドボカシーに関わる各種の事業と、それに係る組織や団体の役割と実際の活動を理解できる。	成年後見制度、福祉サービス利用支援、社会福祉協議会、当事者団体	1	2年	◎	◎	○			◎		○
35C08	科学技術と社会	科学と社会の間に生じる様々な課題について理解し、科学技術を通じた地域貢献について考えられるようになる。	科学技術、社会、対話、コミュニケーション、専門家、非専門家、市民	1	2年	◎				○	◎	○	○
35C09	雇用政策論	就労困難層に対する福祉と就労の連携策やそれをめぐる政策論争を学ぶことを通じて、すべての人が就労による社会参加が可能となる社会の条件について考察し意見を述べることができる。	ワークフェア、アクティベーション、最低生活保障、インクルージョン	1	2年		◎				◎	○	
35C10	現代社会と貧困	社会福祉学や経済学の観点から、公的扶助・生活保護制度・低所得者支援についての抽象的理論と具体的制度について基本的な理解ができる。	公的扶助(生活保護)、貧困、社会的排除、ケイバビリティ、自立支援	2	2年	◎	◎	○			○		

地域創造学類カリキュラムマップ(共生社会プログラム専門科目)(令和4年度以降)

ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)	地域創造学類では、現実の社会から提起される現代的諸課題に目を向け、それらを解決できる能力の育成を行う。そして、誰もが生き生きと安心して暮らせる社会、グローバルな共生社会、しなやかで折れない地域、将来にわたって持続発展する地域を実現するため、地域創造学の専門的知識と技術を修得し、地域の資源と特徴を生かし、質の高い個性ある地域づくりに意欲と責任をもって参加できる人材を、金沢大学<グローバル>スタンダード(KUGS)に立脚して育成する。また、海外の地域創造情報を自ら英語で収集し発信できる人材を育成する。金沢大学<グローバル>スタンダード(KUGS)及び本学類が掲げる人材養成目標を踏まえ、次の学修成果を達成した者に学士(地域創造学)の学位を授与する。		
共生社会プログラムの学習成果			
① 知識・理解	人間の生活基盤となる地域とその諸問題を理解するための地域創造学の専門的知識を修得している。	理念目標・社会的責任	対象となる地域課題の理念・目標や社会的責任について理解している。
	現状理解・把握	対象となる地域課題の現状理解や把握について理解している。	
	実践論・対処方法	対象となる地域課題の実践論や対処方法について理解している。	
② 技能・表現	調査・分析方法	地域の諸課題の解決に必要な調査や分析の方法を修得している。	
	伝達技能	他者の声に耳を傾け、自らの考えを的確に伝達するコミュニケーション能力と他者を繋げ合意形成に導くコーディネート能力を身につけている。	
③ 思考・判断	地域や社会の諸問題を生活から制度・政策まで多角的に分析し考察できる。		
④ 関心・意欲	地域の諸問題を自ら探求し、よりよい地域の創造に貢献する意欲を持っている。		
⑤ 態度	地域で暮らすすべての人に共感と尊敬を持って接することができる。		

地域創造学類のカリキュラム・ポリシー(教育課程編成方針)	<p>地域創造学類は、学位授与方針に掲げる学修成果を達成するため、以下のとおり階層的な教育課程を編成し実施する。特に、地域課題科目群と地域創造科目群の選択的組み合わせによるプログラム制を導入し、学生の学修目標に沿った履修を実現する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 地域を知る基礎的な方法やリテラシーを学ぶ学類基礎科目群 2 地域とその諸問題を理解し、専門的知識を修得するための地域課題科目群 3 学生自身の将来像を意識させ、地域づくりのリーダーとしての素養を修得する地域創造科目群 4 地域を多面的に理解する調査や分析の方法を修得する演習及び実習科目群 5 多様な地域課題に対処する能力を高め、総合性を担保するための高年次の地域創造学特別演習 6 修得した知識と方法を統合的に発揮して自ら発見した地域課題に向かい合う卒業研究 <p>加えて、地域課題解決に実践的に取り組むための現地実習やインターンシップを配置し、フィールドワークによるプロジェクト学習や問題解決学習の手法を導入した実践的学修機会を用意する。また、学生の能動的学習を積極的に促すアクティブラーニングの手法を取り入れるとともに、外国語による地域創造に関する情報の収集と発信機会を提供する。</p>
------------------------------	---

【◎】は、授業の中で重点的に取り扱われ、特に高い学習成果が期待される。
【○】は、授業の中で取り扱われ、高い学習成果が期待される。

番号	授業科目名	学生の学習目標	授業理解のキーワード	単位数	学年	学習成果							
						知識・理解			技能・表現		思考・判断	関心・意欲	態度
理念目標・社会的責任	現状理解・把握	実践論・対処方法	調査・分析方法	伝達技能									
35C11	家族支援論	・少子高齢化と個人化の進展により、揺らぎつつある現代の家族の構造と機能について理解することができる。 ・現代家族の諸問題について把握し、それら諸問題を克服するための家族支援について理解を深めることができる。	家族の構造と機能、ダイバーシティ、ワーク・ライフ・バランス、家族福祉、家族支援	2	2年	◎	◎		○		○		
35C12	対人コミュニケーション演習Ⅰ	コミュニケーションの構造理解をとおして、様々な障害等のある人とのコミュニケーションについて学習する。学生個人が自分自身で学習し、考え、主体的に行動する態度を涵養する。あわせて、他者を理解する前提として、自己の価値基準、基本的前提、感情等についての理解ができる。コミュニケーション技術の基本を身につけることができる。	対人援助、面接、記録	1	2年		◎	◎		◎			○
35C13	対人コミュニケーション演習Ⅱ	コミュニケーションの構造理解をとおして、様々な障害等のある人とのコミュニケーションについて学習する。学生個人が自分自身で学習し、考え、主体的に行動する態度を涵養する。あわせて、他者を理解する前提として、自己の価値基準、基本的前提、感情等についての理解ができる。コミュニケーション技術の基本をより深く身につけることができる。	対人援助、面接、記録	1	2年		◎	◎		◎			○
35C14	人類学的異文化理解Ⅰ	文化人類学の視点から見た地域文化の多面的な様相を、具体的事例検討を通して把握する。	人類学、地域文化、異文化、文化と社会、多面的理解、多様性、トルコ	1	2年		◎			◎	◎		
35C15	人類学的異文化理解Ⅱ	文化人類学の視点から見た地域文化の多面的な様相を、具体的事例検討を通して把握する。	人類学、地域文化、異文化、文化と社会、多面的理解、多様性、インド	1	2年		◎			◎	◎		
35C16	イスラーム社会と文化	イスラームの基礎的事項と、世界のイスラームの多様性を理解し、ともに生きるための考え方を学ぶ。	イスラーム、ムスリム、多様性、イスラーム社会、トルコ	1	2年		◎	◎		◎	◎	◎	
35C17	人の流動と定着	国際人口移動の動態について学び、それが生起する問題の多面性を把握する。各テーマについて「通説」や「常識」にとらわれない見方を身につける。多様な学説を論理的に吟味しつつ、自らの考えを導出する。	国際人口移動、多文化社会、移民の包摂/排除	1	2年		◎			◎	○		○
35C18	ダイバーシティ促進	国籍、性別、年齢、雇用・就業形態や多様な価値観や働き方を受け入れる社会として、ダイバーシティやインクルージョンの意義を理解するとともに、今後の展開について実践的に学ぶ。	ダイバーシティ、インクルージョン、多様性、アンコンシャスバイアス、ジェンダー、性的少数者、働き方	1	2年	◎	◎		○	○	◎		○

地域創造学類カリキュラムマップ(共生社会プログラム専門科目)(令和4年度以降)

ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)	地域創造学類では、現実の社会から提起される現代的諸課題に目を向け、それらを解決できる能力の育成を行う。そして、誰もが生き生きと安心して暮らせる社会、グローバルな共生社会、しなやかで折れない地域、将来にわたって持続発展する地域を実現するため、地域創造学の専門的知識と技術を修得し、地域の資源と特徴を生かし、質の高い個性ある地域づくりに意欲と責任をもって参加できる人材を、金沢大学<グローバル>スタンダード(KUGS)に立脚して育成する。また、海外の地域創造情報を自ら英語で収集し発信できる人材を育成する。金沢大学<グローバル>スタンダード(KUGS)及び本学類が掲げる人材養成目標を踏まえ、次の学修成果を達成した者に学士(地域創造学)の学位を授与する。		
共生社会プログラムの学習成果			
① 知識・理解	人間の生活基盤となる地域とその諸問題を理解するための地域創造学の専門的知識を修得している。	理念目標・社会的責任	対象となる地域課題の理念・目標や社会的責任について理解している。
	現状理解・把握	対象となる地域課題の現状理解や把握について理解している。	
	実践論・対処方法	対象となる地域課題の実践論や対処方法について理解している。	
② 技能・表現	調査・分析方法	地域の諸課題の解決に必要な調査や分析の方法を修得している。	
	伝達技能	他者の声に耳を傾け、自らの考えを的確に伝達するコミュニケーション能力と他者を繋げ合意形成に導くコーディネーション能力を身につけている。	
③ 思考・判断	地域や社会の諸問題を生活から制度・政策まで多角的に分析し考察できる。		
④ 関心・意欲	地域の諸問題を自ら探求し、よりよい地域の創造に貢献する意欲を持っている。		
⑤ 態度	地域で暮らすすべての人に共感と尊敬を持って接することができる。		

地域創造学類のカリキュラム・ポリシー(教育課程編成方針)	<p>地域創造学類は、学位授与方針に掲げる学修成果を達成するため、以下のとおり階層的な教育課程を編成し実施する。特に、地域課題科目群と地域創造科目群の選択的組み合わせによるプログラム制を導入し、学生の学修目標に沿った履修を実現する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 地域を知る基礎的な方法やリテラシーを学ぶ学類基礎科目群 2 地域とその諸問題を理解し、専門的知識を修得するための地域課題科目群 3 学生自身の将来像を意識させ、地域づくりのリーダーとしての素養を修得する地域創造科目群 4 地域を多面的に理解する調査や分析の方法を修得する演習及び実習科目群 5 多様な地域課題に対処する能力を高め、総合性を担保するための高年次の地域創造学特別演習 6 修得した知識と方法を統合的に発揮して自ら発見した地域課題に向かい合う卒業研究 <p>加えて、地域課題解決に実践的に取り組むための現地実習やインターンシップを配置し、フィールドワークによるプロジェクト学習や問題解決学習の手法を導入した実践的学修機会を用意する。また、学生の能動的学習を積極的に促すアクティブラーニングの手法を取り入れるとともに、外国語による地域創造に関する情報の収集と発信機会を提供する。</p>
------------------------------	---

【◎】は、授業の中で重点的に取り扱われ、特に高い学習成果が期待される。
【○】は、授業の中で取り扱われ、高い学習成果が期待される。

番号	授業科目名	学生の学習目標	授業理解のキーワード	単位数	学年	学習成果							
						理念目標・社会的責任	現状理解・把握	実践論・対処方法	調査・分析方法	伝達技能	思考・判断	関心・意欲	態度
35C19	人権論Ⅰ	グローバルな視点から、人権の歴史展開とその意義について理解するとともに、日本及び地域の人権保障上の課題について考えるための基礎知識を身につける。	人権、日本国憲法、国際人権法、ジェンダー、差別	1	2年	◎	◎		○		◎	◎	○
35C20	人権論Ⅱ	地域及び社会に存在する具体的な差別や人権侵害の問題について、人びとの人権保障の観点から解決策を考える力を身につける。	人権、ジェンダー、子ども、若者、女性、セクシュアルマイノリティ、障がいのある人、ハンセン病、被疑者・被告人、外国人、患者の権利	1	2年	◎	◎		○		◎	◎	○
35C21	国際開発論1	本講義では、戦後の経済発展の概要、経済発展理論の盛衰、世界銀行とIMFによる構造調整政策についてミクロ・マクロ経済学の観点から理解することを目指す。	開発経済学、経済成長、援助	1	2年		◎				◎	○	
35C22	国際開発論2			1	2年		◎				◎	○	
35C23	国際開発論1E	本講義では、戦後の経済発展の概要、経済発展理論の盛衰、世界銀行とIMFによる構造調整政策についてミクロ・マクロ経済学の観点から理解することを目指す。	開発経済学、経済成長、援助	1	2年		◎				◎	○	
35C24	国際開発論2E			1	2年		◎				◎	○	
35C25	国際協力体制	本講義では、国際協力の主体となる組織とその役割について理解し、その国際協力に関連する組織の実践を学び、国際社会の仕組みについて説明できるようになる	多国間協力、二国間協力、NGO、企業の社会的責任	1	2年	◎	◎				○	○	○
35C26	SDGs基礎	<ol style="list-style-type: none"> 1 自分の関心のある社会課題解決の重要性を自分の言葉で他者にわかりやすく説明できるようになる 2 自分の関心のある社会課題が発生する問題構造の仮説を論理的に説明できるようになる 3 自分の関心のある社会課題がSDGsとどのように関連しているのかを説明できるようになる 4 自分の関心のある社会課題の解決のツボは何かを、その根拠とともに他者にわかりやすく説明できるようになる 5 自分の関心のある社会課題の解決のために効果的だと思われるアクションを提示することができるようになる 	SDGs、システム思考、未来志向型問題解決	1	2年	◎	◎	◎	◎		◎	◎	◎

地域創造学類カリキュラムマップ(共生社会プログラム専門科目)(令和4年度以降)

ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)	地域創造学類では、現実の社会から提起される現代的諸課題に目を向け、それらを解決できる能力の育成を行う。そして、誰もが生き生きと安心して暮らせる社会、グローバルな共生社会、しなやかで折れない地域、将来にわたって持続発展する地域を実現するため、地域創造学の専門的知識と技術を修得し、地域の資源と特徴を生かし、質の高い個性ある地域づくりに意欲と責任をもって参加できる人材を、金沢大学<グローバル>スタンダード(KUGS)に立脚して育成する。また、海外の地域創造情報を自ら英語で収集し発信できる人材を育成する。金沢大学<グローバル>スタンダード(KUGS)及び本学類が掲げる人材養成目標を踏まえ、次の学修成果を達成した者に学士(地域創造学)の学位を授与する。		
共生社会プログラムの学習成果			
① 知識・理解	人間の生活基盤となる地域とその諸問題を理解するための地域創造学の専門的知識を修得している。		
	理念目標・社会的責任	対象となる地域課題の理念・目標や社会的責任について理解している。	
	現状理解・把握	対象となる地域課題の現状理解や把握について理解している。	
② 技能・表現	実践論・対処方法	対象となる地域課題の実践論や対処方法について理解している。	
	調査・分析方法	地域の諸課題の解決に必要な調査や分析の方法を修得している。	
③ 思考・判断	伝達技能	他者の声に耳を傾け、自らの考えを的確に伝達するコミュニケーション能力と他者を繋げ合意形成に導くコーディネート能力を身につけている。	
④ 関心・意欲	③ 思考・判断	地域や社会の諸問題を生活から制度・政策まで多角的に分析し考察できる。	
⑤ 態度	④ 関心・意欲	地域の諸問題を自ら探求し、よりよい地域の創造に貢献する意欲を持っている。	
	⑤ 態度	地域で暮らすすべての人に共感と尊敬を持って接することができる。	

地域創造学類のカリキュラム・ポリシー(教育課程編成方針)	<p>地域創造学類は、学位授与方針に掲げる学修成果を達成するため、以下のとおり階層的な教育課程を編成し実施する。特に、地域課題科目群と地域創造科目群の選択的組み合わせによるプログラム制を導入し、学生の学修目標に沿った履修を実現する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 地域を知る基礎的な方法やリテラシーを学ぶ学類基礎科目群 2 地域とその諸問題を理解し、専門的知識を修得するための地域課題科目群 3 学生自身の将来像を意識させ、地域づくりのリーダーとしての素養を修得する地域創造科目群 4 地域を多面的に理解する調査や分析の方法を修得する演習及び実習科目群 5 多様な地域課題に対処する能力を高め、総合性を担保するための高年次の地域創造学特別演習 6 修得した知識と方法を統合的に発揮して自ら発見した地域課題に向かい合う卒業研究 <p>加えて、地域課題解決に実践的に取り組むための現地実習やインターンシップを配置し、フィールドワークによるプロジェクト学習や問題解決学習の手法を導入した実践的学修機会を用意する。また、学生の能動的学習を積極的に促すアクティブラーニングの手法を取り入れるとともに、外国語による地域創造に関する情報の収集と発信機会を提供する。</p>
------------------------------	---

【◎】は、授業の中で重点的に取り扱われ、特に高い学習成果が期待される。
【○】は、授業の中で取り扱われ、高い学習成果が期待される。

番号	授業科目名	学生の学習目標	授業理解のキーワード	単位数	学年	学習成果							
						理念目標・社会的責任	現状理解・把握	実践論・対処方法	調査・分析方法	伝達技能	思考・判断	関心・意欲	態度
35C27	SDGs実践	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自分の関心のある社会課題解決の重要性を自分の言葉で他者にわかりやすく説明できるようになる 2. 自分の関心のある社会課題が発生する問題構造の仮説を、問題の当事者へのヒアリングや現場の調査をもとに構築できるようになる 3. 自分の関心のある社会課題の解決のために、人々の行動に対する動機づけを組み入れたアクションを提示することができるようになる 4. デザイン思考に基づいたアクションプランの改善を行うことができるようになる 	SDGs、システムデザイン思考、未来志向型問題解決、フィールドワーク	1	2年	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
35C91	共生社会プログラム専門演習	共生社会領域における課題を指導教員の専門領域からのアプローチによって解決するための知識や技術、方法論を演習形式で学修する。卒業研究に向けて必要な知識・技能を修得する。	共生社会、専門領域、方法論、演習	4	3年	○	◎	◎	◎	○	○	◎	○
35C92	共生社会プログラム専門実習	共生社会領域における課題を指導教員の専門領域からのアプローチによって解決するための知識や技術、方法論を実習形式で学修する。卒業研究に向けて必要な知識・技能を修得する。	共生社会、専門領域、方法論、実習	2	3年	○	◎	◎	◎	○	◎	◎	○
35C93	共生社会プログラム共同演習	共生社会における多様なアプローチを理解し、共生社会プログラムにおける総合性を修得する。	共生社会、総合的アプローチ、演習	1	3年	○	○	○	○	◎	◎	○	○
35402	地域創造学特別演習	卒業論文のテーマ設定や方法論、研究成果について討論し、地域創造学における専門性と総合性を学修する。	地域創造学的アプローチ、卒業研究、討論、発表会	1	3年	○	○	○	○	◎	◎	○	○
35400	卒業演習	各自の関心・テーマを探究し卒業論文を執筆するための研究・実験・調査等を行うとともに、論文執筆の技法を身につける。	卒業論文、論文執筆の技法	4	4年	◎			◎	◎		◎	
35401	卒業研究	各自の関心・テーマを探究し大学での学習の集大成となる卒業論文を執筆する。	卒業論文	6	4年		◎	◎			◎		◎

開講されるクォーターは、年度ごとに公表される授業時間割表を参照してください。